

Nitto

第152期

第2四半期のご報告

2016年4月1日～2016年9月30日



News Flash

事業ポートフォリオを変革する Nittoグループのイノベーション

Nittoグループは電気絶縁材料の国産化を目指して1918年に創立されました。以来、数多くの新しい技術を生み出し、複合化することでお客様の期待を越える「驚きや感動」をお届けする製品を提供してきました。

私たちを取り巻く事業環境は、IoT (Internet of Things) やAI (Artificial Intelligence) など人をサポートする技術の進展に伴い急速に変化しています。Nittoグループは創立100周年の2018年を次の成長に向けた通過点とするため、グリーン(環境)・クリーン(新エネルギー)・ファイン(ライフサイエンス)の新しい領域で事業ポートフォリオの変革を加速しており、一部はすでに成果が出はじめています。

これからもお客様から「こんなものが欲しかった」の声をお聞きすることができるよう、益々、イノベーションに磨きをかけてまいります。株主の皆さまにおかれましては、従来同様ご支援ご指導を賜りますよう、宜しく申し上げます。

グリーン・クリーン・ファインの詳細につきましては、当社ホームページの「企業CMギャラリー」をご覧ください。



株主のみなさまにおかれましては、日ごろからのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年度前半を終えて

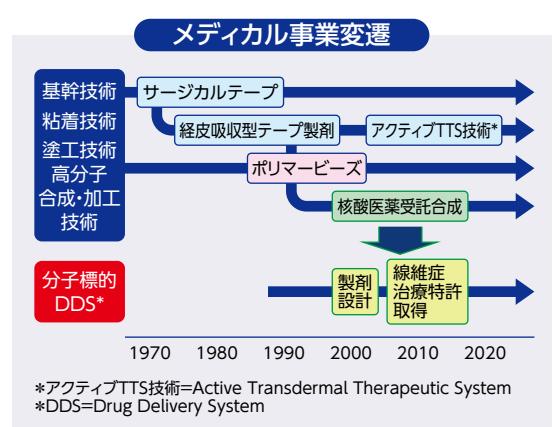
これまで成長を牽引してきたエレクトロニクス市場の成長鈍化や円高の影響を受けた厳しい環境に置かれました。これに立ち向かうためオプトロニクス事業の強みに磨きをかける一方、グリーン（環境）・クリーン（新エネルギー）・ファイン（ライフサイエンス）の領域で事業ポートフォリオ変革を強力に推進しました。事業ポートフォリオ変革の柱の一つであるメディカル事業では、核酸医薬の受託製造が好調に推移しました。トランスポートーション事業では、スイスNolax社からカーテンエアバッグ向け機能性フィルム事業を買収して、将来に向け事業領域拡大の布石を打ちました。また、グループ内の消費財事業を行っている子会社を統合して、新しい価値の提供とブランド価値の向上を図る体制を整えました。

メディカル事業について

メディカル事業は、ファイン（ライフサイエンス）の要の事業ですが、同事業は、古く1960年代後半に絆創膏用粘着シートを製造したことに始まります。次いで、独自のプラットフォームを活用して製薬メーカーとの協業で皮膚から薬剤を吸収する経皮吸収型テープ製剤に展開し、狭心症、ぜん息、高血圧治療等の医薬品を手がけてきました。そして現在、

市場拡大が期待されている核酸医薬において、受託製造トップシェアを持つ米国企業を2011年に買収して市場参入を果たしました。この企業は、元々、核酸医薬の合成時に必要なポリマービーズというNitto製品のお客様でした。核酸医薬の受託製造事業が好調に推移しており、米国拠点で生産能力拡大の投資に着手しています。更に、2016年10月に発表したとおり、米国の分析サービスと無菌充填サービス会社の資産買収を行い、お客様の満足度を上げるための事業強化を図っています。

核酸医薬では、受託製造事業を買収する以前から体内の狙ったところへ薬を運ぶ、分子標的ドラッグデリバリーシステム技術へ取り組んできました。この技術を用いた肝硬変治療では、薬効に関する患者様への治験第2相b試験を計画しています。革新的な治療薬として少しでも早く患者様にお届けできるよう、あらゆる選択肢を検討しています。



利益還元について

Nittoグループは、株主の皆さまへの安定的な利益還元を経営上の最重要課題の一つとしています。同時に財務体質の強化と技術革新や事業展開に備えた先行投資にも配慮しながら利益状況、配当性向等を総合的に勘案して実施しております。この基本方針のもと、当事業年度の業績予想と資金状況を踏まえ、1株当たり年間配当予想を2016年4月28日にお伝えした140円から10円増額の150円を予定し、中間配当金を5円増額して75円とすることを決定しました。



代表取締役 取締役社長
CEO・COO

高崎 秀雄

■ Nittoとして中国初の偏光板前工程 中国深圳へ大型投資

中国の深圳日東光学有限公司で液晶パネル用フィルム部材の偏光板の生産設備を新設することを決め、18年度中に量産開始を目指します。

生産する偏光板は世界最薄の超薄型偏光板で、中国でも最先端のNitto製品の量産を行う事で、現地のお客様の注文に素早く応じる体制を整えます。

この超薄型偏光板はアメリカSIDが主催するDisplay Industry Awards 2016においてDisplay Component of the Year Awardを受賞しており、品質や技術の高さが認められています。



SIDはThe Society for Information Display、ディスプレイ分野に特化した唯一の専門組織です。

■ 核酸医薬米国2社の資産を買収

2016年10月、米国の日東電工アビシアを通して、医薬品の分析サービスを提供するIrvine社及び、医薬品の無菌充填サービスを提供するAvrio社の資産買収を行い、新会社「日東アビシアファーマサービス社」を設立しました。

この買収は、日東電工アビシアの核酸原薬の製造サービスにおける分析機能を拡充し、また注射液などをビンやシリンジに無菌充填する機能でサービスの領域を拡大、今後市場の成長が見込まれる核酸医薬で更なる事業拡大を目指します。

Irvine社: Irvine Pharmaceutical Services, 米国カリフォルニア州アーバイン市
Avrio社: Avrio Biopharmaceuticals, 米国カリフォルニア州アーバイン市



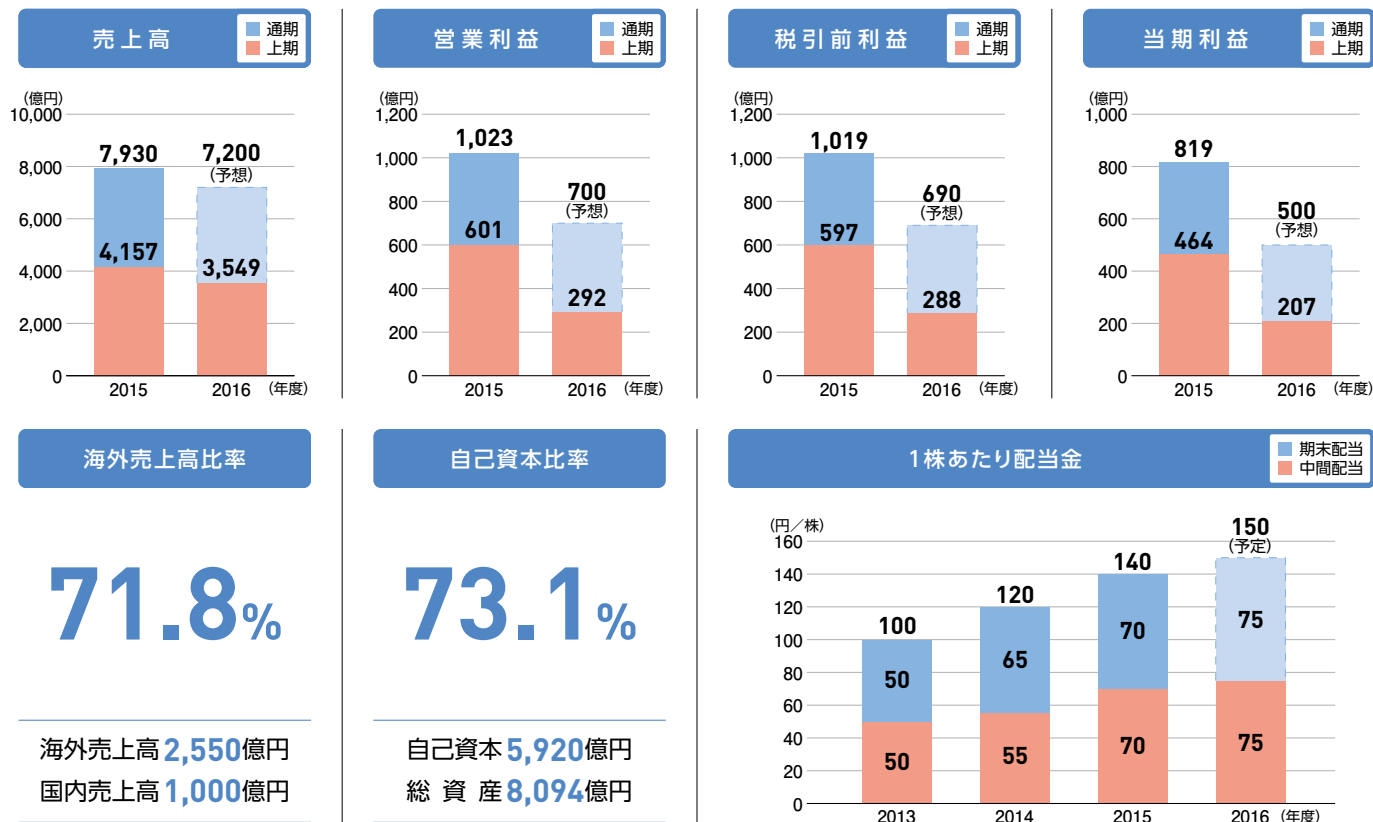
■ 新しい経皮投与システム 「Nitto PassPort™ System」の展開

痛みなく安全に皮膚表面に微細な孔を開ける技術と粘着テープに薬物を加え皮膚に貼付する技術を合わせた経皮投与技術「Nitto PassPort™ System」を用いて、開発と製造に本格的に取り組めます。これにより、投与できる薬剤の種類も広がる可能性が高まりました。実用化を加速するために、2016年5月に第一三共とパートナーシップ契約を締結しました。



業績ハイライト

※2014年度より国際会計基準 IFRSを適用しています。



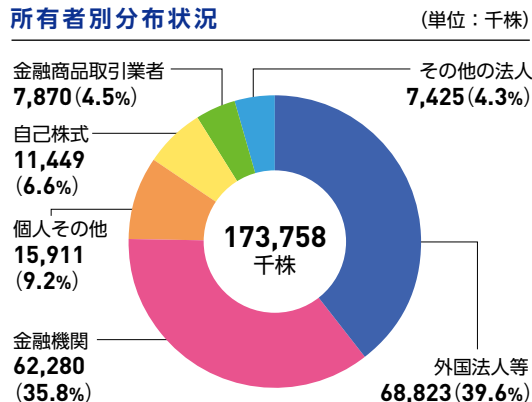
ポイント

- 1 上半期は、メディカル(医療関連材料)における核酸医薬の受託製造が増収増益に寄与しました。しかし、主力のオプトロニクス事業における光学フィルムや回路材の顧客の生産調整と円高等の影響を受けたため、全体では減収減益になりました。
- 2 平成29年3月期通期業績予想及び資金状況を踏まえ、1株当たり年間配当予想を、従来の140円から10円増額して150円を予定し、中間配当金を5円増額して75円とすることを決定しました。

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行済株式の総数 173,758千株
株主数 37,047名

所有者別分布状況



株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto

日東電工株式会社 〒530-0011 大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪 タワーA 33階

UD
FONT
by MORISAWA